

集団健診、各種予防接種のお知らせ

まちの話題



2/14

世界を魅了する「緑の魔術師」 石原和幸さんと学ぶ 花の力



庭園デザイナーの石原和幸さんを迎え、花による美しいまちづくりセミナーを開催しました。当日は、石原さんによる「花による美しいまちづくり」をテーマにした講演のほか、フラワーアレンジメントのワークショップを実施。参加者は、石原さんの指導のもと、実際に手を動かしながら美しい空間づくりに挑戦する時間を体験しました。驚きと笑顔に包まれた充実のひとときとなりました。

2/13

決意を胸に全国へ ソフトテニス全国大会へ



上頓野小学校6年生(当時)の仲間駿さんが、1月に北九州市で開催された県予選会男子シングルスで見事準優勝に輝きました。

仲間さんは、「今後は今の結果に満足せず、さらにも上を目指します」と、大舞台を見据え力強く語りました。これまでも数々の大会で上位入賞を果たした仲間さん。今後の活躍が楽しみです。

3/5

もちだんご村 もち吉工場直売所が オープン!



下境に「もちだんご村 もち吉工場直売所」がグランドオープンしました。式典には大塚市長が出席し、地元出身の浅香山親方(元大関魁皇)とともにテープカットを行いました。

本施設は、工場直送の米菓販売に加え、つきたて餅が味わえるカフェや「水車うどん」を併設した複合施設です。市長は「直方の新たな観光拠点として、地域の活性化につながることを期待します」と祝辞を述べました。

2/17

未来へつなぐ探究心 第23回中学生作文コンクール で最高賞受賞



直方第二中学校2年生(当時)の池田健心さんが、応募総数1万7千編を超える「第23回中学生作文コンクール」にて、最高賞の文部科学大臣賞を受賞しました。池田さんは、小学高学年の頃に担任の先生から聞いた「水溶性プラスチック」の話をきっかけに環境問題への関心を深め、その洞察を「私たちの、たった一つの地球」という作品にまとめました。「今後も環境諸問題について探究し続けたい」と力強く語る池田さん。これからの歩みに大きな期待が高まります。

4月1日(水)から集団健診の予約が 始まります

「令和8年度直方市けんしんガイド」を確認のうえ予約をお願いします。



【問い合わせ】
健康長寿課 健康推進係 ☎25-2115

高齢者予防接種のお知らせ

4月以降も引き続き、対象の人については肺炎球菌ワクチン・带状疱疹ワクチンの接種が可能です。

※肺炎球菌については、誕生月の下旬に発送予定です。

※带状疱疹については、4月中旬に通知を対象者全員に発送します。

【問い合わせ】
健康長寿課 健康推進係 ☎25-2115

(妊婦対象)RSウイルス母子免疫ワクチンの定期接種化

4月1日(水)から妊婦を対象としたRSウイルス母子免疫ワクチンの定期接種化が始まります。妊娠中にワクチンを接種することで、お腹の赤ちゃんに免疫を移行し、乳児期のRSウイルス感染症による肺炎の重症化等を予防する効果が期待できます。

接種対象者

接種日時時点で市内に住居登録をしている妊娠28週0日から36週6日までの妊婦

接種回数
妊娠ごとに1回

定期接種開始日

4月1日(水)から
※令和7年度に妊娠届を提出された対象の人には個別に通知します。



RSウイルス感染症とは

RSウイルスは、乳幼児に多い急性の呼吸器感染症の原因となるウイルスです。このウイルスは年齢に関係なく何度も感染しますが、初めて感染したときがいちばん重くなりやすいといわれています。

特に生後6か月以内の赤ちゃんがかかると、細気管支炎や肺炎等を起こし、重症になることがあります。RSウイルスはとても感染力が強く、1歳までに半分以上、2歳までにほぼ全てのこどもが一度は感染するとされています。

【問い合わせ】子育て・障がい支援課 母子保健係 ☎25-2114

令和8年度中学生・高校生海外派遣事業を実施

今年度も海外派遣事業を実施します。

市内の中高生から希望者を募り、12人(中学生8人、高校生4人)を1週間程度フィンランドに派遣します。

フィンランドでは、「アントレプレナーシップ」をテーマにプログラムした自然体験/学校交流/文化・教育施設の視察/まちなかでのフィールドワーク等を行います。異国の地で自分自身と向き合い、新たな可能性や未来の選択肢を探求することで自己発見の機会とするとともに、これからのグローバル社会に必要な「生きる力」を学びます。

詳しくは二次元コードから市ホームページをご覧ください。
【問い合わせ】学校教育課 学校教育係 ☎25-2323

対象

市内に住居登録をしている中学1~3年生
市内に住居登録をしている高校1~3年生

派遣期間(1週間程度)

8月16日(日)
~23日(日)

申込期間

4月1日(水)午前9時
~30日(木)午後5時



▲中学生海外派遣事業



▲高校生海外派遣事業